



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



研修医日記

作成者：須郷 由希（2年次）

地域研修で先週まで1か月間宮古島に行ってきました。こちらの夏とは違い、最高気温33℃で湿度90-100%の蒸し風呂状態でとても暑かったです。宮古病院で地域研修をしていましたが、上の先生方だけでなく他病院の研修医のみなさんにも大変お世話になりました。在宅のお看取りに立ち合ったり、訪問診療に同行したりと、地域研修でないと経験できないようなことをたくさん学んできました。もちろん、宮古島ならではのおいしいごはんやきれいな海も堪能しました。救急外来も見学したためハブ外傷をみられるかと思っていましたが、宮古島にはハブはいないようです。かわりに、クラゲ刺傷が多いような印象を受けました。

写真は多良間島（宮古島の近くの離島）へ行くプロペラ機の中から撮影した写真です。サンゴ礁がとてもきれいです。



多良間島の診療所では、島の人口が1500人に対し医師1人という厳しい環境でした。離島での医療を見ることは貴重な経験でした。また、多良間島ではヤギが多く、私が泊まった向かいの家でもヤギを飼っていました。多良間島にいるときはヤギの鳴き声で起床していました。

今週からは麻酔科研修です。難しく奥が深い分野ですが、好きな分野でもあるので、気合を入れて頑張りたいと思います。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。